

2022 FTSE Blossom Japan Index

2022/12月組み入れについて

FTSE Blossom Japan Index とは

環境、社会、ガバナンス（ESG）について優れた対応を実践している
日本企業のパフォーマンスを測定するために設計された指標

FTSE Blossom Japan Index の特徴

サステナブル投資に焦点を当てた指標

ESGに関し、透明性の高い基準を満たしている企業を組み入れ

スチュワードシップとエンゲージメント向上に資するインデックス

FTSE Blossom Japan Index **メリット**

GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が運用する年金マネー
約167兆円の運用先となり、株価向上が期待できる

ESGに対し、高い意識を持った企業と認定される

FTSE Blossom Japan Index 組み入れ

年次調査※スコアで3.3以上+ウェイト評価

NOKは20年度スコア：3.9 (5.0満点) ウェイト0.04
(E:4.1 S:3.2 G:4.5)




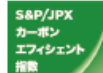
調査は年1回（1月～3月）、組み入れは年2回（6月と12月）

※約430の質問項目に対し公表ベースでFTSEが独自調査

appendices

GPIFが採用しているESG指数の主な特徴

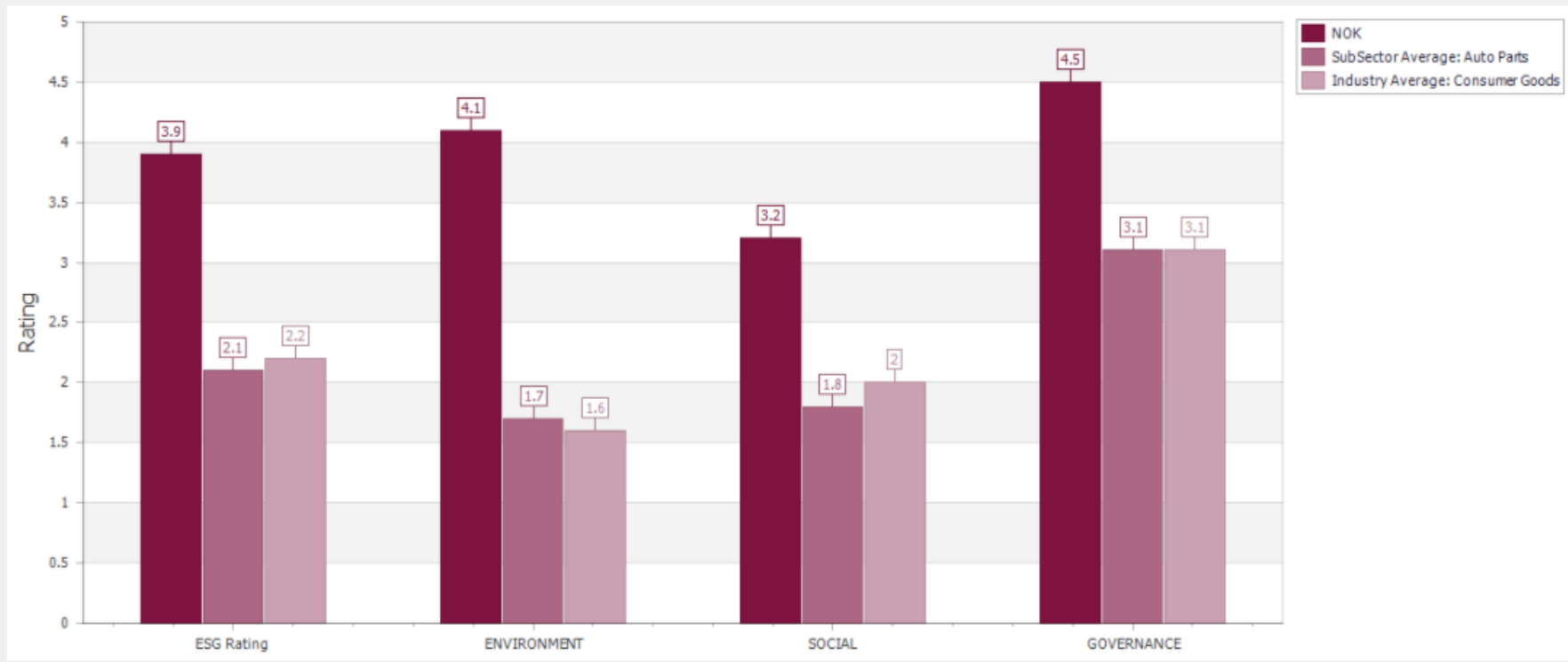
国内株 ESG 指数

	 FTSE Blossom Japan Index <small>FTSE Blossom Japan</small>	 MSCI ジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数 <small>MSCI MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数</small>	 MSCI 日本株女性活躍指数 (愛称「WIN」) <small>MSCI MSCI 日本株 女性活躍指数 [WIN]</small>	 S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数 <small>S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数</small>
指数の コンセプト・ 特徴	<ul style="list-style-type: none"> 世界でも有数の歴史を持つFTSEのESG指数シリーズ。FTSE4Good Japan IndexのESG評価スキームを用いて評価。 ESG評価の絶対評価が高い銘柄をスクリーニングし、最後に業種ウェイトを中立化したESG総合型指数。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界で1,000社以上が利用するMSCIのESGリサーチに基づいて構築し、様々なESGリスクを包括的に市場ポートフォリオに反映したESG総合型指数。 業種内でESG評価が相対的に高い銘柄を組み入れ。 	<ul style="list-style-type: none"> 女性活躍推進法により開示される女性雇用に関するデータに基づき、多面的に性別多様性スコアを算出、各業種から同スコアの高い企業を選別して指数を構築。 当該分野で多面的な評価を行った初の指数。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境評価のパイオニア的存在であるTrucostによる炭素排出量データをもとに、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスが指数を構築。 同業種内で炭素効率性が高い(温室効果ガス排出量/売上高が低い)企業、温室効果ガス排出に関する情報開示を行っている企業の投資ウェイトを高めた指数。
指数構築	選別型(ベストインクラス)	選別型(ベストインクラス)	選別型(ベストインクラス)	ティルト型
指数組入候補(親指数)	FTSE JAPAN ALL CAP INDEX [1,391 銘柄]	MSCI JAPAN IMI TOP 700 [694 銘柄]	MSCI JAPAN IMI TOP 700 [694 銘柄]	TOPIX [2,187 銘柄]
指数構成銘柄数	200	231	298	1,844
運用資産額(億円)	14,906	20,268	12,362	15,365

＋MSCI ACWI ESG、Morningstarジェンダーダイバーシティ指数も追加

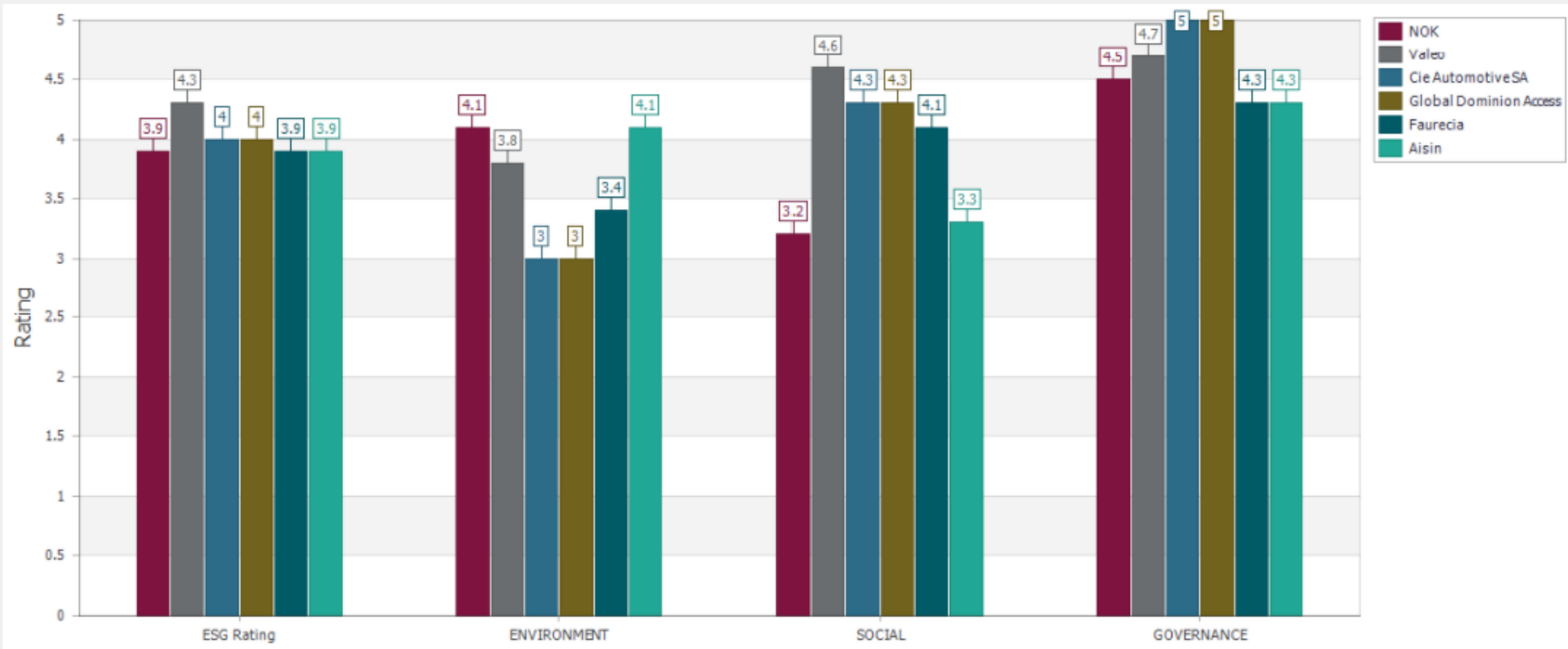
appendices

NOK vs SubSector and Industry averages



appendices

NOK vs Top 5 SubSector Peers



memo

ICBとは「Industry Classification Benchmark」の略称で、世界的に利用されている業種分類基準
FTSEとアメリカのダウ・ジョーンズによって開発され、2005年に公表

ICBの構造は四つの階層構造。11の業種、20のスーパーセクター、45のセクター、173のサブセクター

NOKはConsumer Goods - Automobiles & Parts - Automobiles & Parts - Auto Parts